

派遣留学（韓国）感想文

国際文化学科

21015112

堀 未来

今回、派遣留学制度を使って韓国へ留学して学んだことや、よかったなと思うことがいくつかある。

まず、この留学の1番の目的である韓国語である。日本にいても韓国語を学ぶことはできるが、日本でネイティブな韓国語を身に付けることはできないと思い、今回留学した。留学先のキョンヒ大学では、韓国語初級1と初級2を学んだ。キョンヒ大学の先生たちは、とても親切で優しく韓国語を教えてくれ、楽しく韓国語を学ぶことができた。韓国語と日本語は文法が同じく、単語も似ているものがいくつかある。だから、ほかの言語に比べたら簡単であると思うが、同じ言葉があっても韓国と日本ではとらえ方が違う部分があるため、難しく理解に苦しんだ時もあった。しかし、キョンヒ大学の先生たちはしっかり理解できるまで、1対1で教えてくれた。そのおかげで留学に来る前よりも韓国語を身に付けることができた。

次に、外国人とのコミュニケーションについてである。外国に住んだことがないため、外国の友達がいなく、方は外国人と会話することに少し抵抗があった。初めは韓国語を読むことはできるが韓国語を話す力がなく、自分から韓国語で話しかけられずにいて、クラスに馴染むことができなかった。外国の人たちは英語を話すことができ、すぐに仲良くなっていた。しかし、韓国語の授業を受けていくうちに韓国語を話す力が徐々に身につき、クラスの人たちとカラオケに行ったり、一緒にご飯を食べに行ったりと仲を深めることができた。

このように外国の人々に関りをもつまでは、外国の人とは仲良くなれることは難しいと思っていたが、それは間違っていた。日本人はとても消極的な人々が多く、仲良くなれる人となれない人がいるが、外国の人々は積極的である。日本語と英語、日本語と韓国語という言語の壁があるだけで、話す言語が同じで積極的性があればこんなにも仲良くなれるということを学ぶことができた。

留学生活では、日本では体験できない事を体験したり、大切なことを学んだりすることができ、今回派遣留学制度を使って韓国に留学し、外国の友達を作ることができ、とてもよかったなと思っている。今後この留学生活を活かしていきたいと思っている。